令和７年度　日本大学スポーツ科学部　個人研究費　研究実績報告書

所属：スポーツ科学部　競技スポーツ学科
資格：教授
氏名：日吉　秀松

研究課題名	思想改造運動のプロセスに関する研究
研究目的及び研究概要	研究目的 　1949年に中国共産党政権が成立して間もなく、大学教員をはじめとする知識人に対して思想改造運動が実施された。その結果、知識人の独立した精神は抑圧され、言論活動も厳しく制限されることとなった。従来、この思想改造運動に関する研究は主として政権中枢の動向に焦点を当ててきたが、中国の知識人自身が有していた内在的要因や弱点については十分に検討されてこなかった。 　そこで本研究は、思想改造運動の過程における中国知識人の態度および行動様式を明らかにすることを目的とする。思想改造運動のプロセスを解明するためには、これまでに収集した資料を整理・分析するとともに、台湾大学、国史館、中央研究院、国家図書館などの研究機関において、新たな資料の収集を積極的に進める必要がある。
研究実績の概要 研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等	本研究は、1949年の中国共産党政権成立直後に実施された思想改造運動を対象とし、そのプロセスにおける中国知識人の態度および行動様式の解明を目的としている。これまでに、関連する先行研究および一次資料の収集を進めるとともに、それらの整理・分析を行い、思想改造運動に関する基礎的な研究枠組みの構築を試みてきた。 　また、資料の拡充を図るため、2025年10月29日から11月4日にかけて台湾において現地調査を実施し、国史館、中央研究院、国家図書館などの研究機関において関連史料の収集を行った。これにより、従来の研究では十分に扱われてこなかった知識人側の視点に関わる資料の蓄積が進み、本研究の分析基盤が一層強化された。 　以上の成果を踏まえ、現在は収集資料の精査と分析を継続しており、今後は本研究計画に基づき論文の執筆を進め、思想改造運動の過程における知識人の主体的対応の実態を明らかにすることを目指す。なお、本研究の論文題目は「思想改造運動と知識人の態度」とする予定である。